Re: FIRST



94組188名による返歌をテーマにした短歌集

2020年秋 #Re短歌





※ お一人目のアカウント順

404notF0816

桜望子

きつね

× 千原こはぎ

英田柚有子 × 穂崎円

×

おおはしけんじ

野中美亨 ぐりむ

阿鼻地獄 X 凪沙帳 七味

鈴木智子 × 星川郁乃

× 青時

千早とわ X 星野いのり

千仗千紘 CHONO × × Shiduka Mai 笠原楓奏(ふーか)

犬口マズル ともえ夕夏 X × 阿部 雨虎俊寛 啓

まきぞの 尾崎飛鳥 朝野陽 あきやま

青木健一 菊池洋勝

> 深水遊脚 鈴木精良

X × × ×

詩穂

若杉有紀

須磨蛍

有村奈都 青藤木葉

眞鍋せいら 友常甘酢 × あさ 音無早矢

ましまゆり 海月莉緒 小田たくみ

袴田朱夏 ×

浦川ゆきこ ×

櫻井朋子

郡司和斗 滝藤青瀬

狩峰隆希

×

5.74ft

春陽 × ササキシュウ

のつちえこ × 新棚のい 陽辻 久藤さえ 寿

中之島 星野珠青 潤 × × 石勇斎朱吉 角野裕美

からすまぁ 遠野景 × × 紫の君 塚本凜々子

榎本ユミ 小俵鱚太

北町南風

RUKA

えみ

鈴木智花

泳二 × ことり

2

新妻ネトラ×	西村曜×	なるなる ×	ŧ. ×	沙羅粗伊 ×	長井めも ×	篠永 共佳 ×	黒 来 ×	かすとり体力×	コトバワケ×	紺野水辺×	神戸麻衣 ×	野添まゆ子 ×	木村槿×	楢原もか×	ーノ瀬ケイ×	杉谷麻衣 ×	かのこ ×	鴨 衣 ×
ブルーウェットふみ乃	佐藤博之	兎陸☆(とりっくすたー)	龍翔	澄薫	たご団子	南美桜	柊ひじり	小澤ほのか	月岡烏情	domina	潮木黎	青山祐己	カラスノ	諏訪灯	真野陽太朗	堂那灼風	水戸一	高野蒔
たろりずむこ	たなかのたんか	天田銀河	菅沼ぜりい	海月漂	御燈肖	瓦すずめ	鴇巣 :	田中翠香	ソウシ	嫉妬林檎	月隠いち	佐藤氷魚	ケンイチ	四辻さる	さめない	ルオ	り ん 2	國崎半島:
× 川野愛奈	× 花曇り	× キール	× 青村豆十郎	× 魚返みりん	× あの井	× かなた小秋	× ひかる	×知己凛	× 吉岡繁樹	× のにし	× 廣間菜月	× 八重森さくら。	× 野川	× 朝田おきる	× 田中はる	× 悠佳里	× 万間みいや	× むささび
	工藤吹	吹屋万由子	粗目雪	岡本雄矢	村田 侑衣	芍薬	泉由良	優木ごまヲ	ゆきをまる	松島ゆうり	夜夜中さりとて	西鎮	天野うずめ	アナコンダにひき	小林菫子	toron*	戸似田一郎	雪野菜帆
	× 豊冨瑞歩	× 吹屋	× ゆりこ	× スズサク	×あさき	× 犬井楡	× な な	× カタクリ	× さた	× 桝枯井戸	× うゆに	× 愁	× 岡田·	× 瑠璃紫	× 宗谷燃	×近江瞬	× 平出奔	× み そ
	瑞步	吹屋三佐子	J	サク	きまほろ	楡		クリ	さたをまる	井戸	เฉ		岡田奈紀佐	紫	燃	瞬	奔	

七つのいちごと十七の動物、

八ヶ月ぶりに逢えた恋人

想像のなかよりあまい横顔にはずむ頬 どこから回ろうか

入場ゲートは青空に映えチケットを入れたかばんが小さくはずむ

ずっと逢いたかった気持ちを安直に例えてキリンの横顔まねる

さっきから笑ってばかりペンギンは飛びたいかとかずっと議論して

きっとまた笑ってしまうまんまるに丸まるマヌルネコの表情

どうぶつを見るとき君のまんまるになる目がかわいくてもうすきだ

見ためよりすこし小さい手のひらをつよく握ってもう離せない

閉園の曲

まだつながれた熱を確かめている(あとすこしだけ)

きつね 千 原こは ぎ

@kohagi_tw

@001kitsune

恋について、

硝子へと頭を預け待っていたような気がする水曜の雨

目を伏せるあなたを抱きしめられずいた空港の雨はひどく冷たい

セーターの毛玉が不意に気になって毟ってしまう、雨止まないで

お揃いのサイズのセーター着れるときだけが同性でよかったところ

セーターに顔うずめれば懐かしいあなたの香りがする晩秋に

金木犀落ちたはずなのに香りしてあなたを忘れることが増えてく

ひらりひらり零れ落ちてく記憶ありマフラーを巻き歩きだす朝

目を開ければ花吹雪の舞うその最中振り向かないで飛び出してゆく

404notF0816 @404notF08169144



桜望子 @Ma2raMen

19時のプラタナス

帰路

風が秋 会いたい人に会えなくてあなたもきっと退屈でしょう

会いたいというのは枝から落ちる葉をそっと見送ることかも知れず

落ちた葉を踏めばさくさく音がするのが楽しくて小さく歌う

そんなにも早足で行かなくていい 人、子犬、猫、 星と満月

来ないかもしれない人を待っている 枝先の深い色のマフラー

炎さえこしらえながら不安げに瞳を揺らし人は人を待つ

見上げればあなたはそこにいてくれて冬の夜には光りさえする

夕闇に樹のように立つ影があるマフラーの赤すこし震わせ

退社後のエレベーターでどうせまた返信のないLINEを開く

降りてゆくエレベーターで俯いたきみの顔にも夕陽は差して

「頑張っているね」と笑う横顔がビルのガラスに反射している

「恋人が電話に出ないんだよね」って話せば青に変わる信号

変わらないものなどなくて気がつけば金木犀の香りもしない

ため息を笑い飛ばしてくれるから銀杏並木をゆっくり歩く

クリスマスひとりきりだと言われれば後の会話がすり抜けていく

触れそうな手を引っ込めるクリスマスツリーの準備が進む駅前

尾 崎 飛鳥

@a__suuu



@asanoyoyo 朝 野 陽 々

柚 @9mor1 有 子 @golden_wheat 穂 崎 円

英 田

もしもしあのね、ドライブ行こう

それらすべてを抱いて眠ろう

きみが乗る青い車は夜見ると深い海でも抱いてるみたいだ

助手席が埋まると決まってエンジンは主人に代わって機嫌よく鳴る

信号のひかりまでもがやさしいねこの車から見える景色は

降りだしたフロントガラスの雨粒は僕があげたい宝石に似て

FMの電波に乗せて二人にも押しつけられる愛の尊さ

セットした目的地はあの海岸線 三年前のスタート地点

車から降りた二人の真ん中を青い潮風吹き抜けてゆく

海面とボンネットにも月がいる そうゆう風に側に居させて

服用後ネムクナラナイクスリデスキキモシナイガミツメテハイル

秋用の別れ涙を携えてハチ公前でもう三時間

見つめて入る野天かな櫨紅葉それらすべてを抱いて眠らう

もう三時間起きられぬ秋の暮それらすべてを抱いて眠らう

いかがかな三首のうちの一首でもあなたの胸をうつのあるかな

うつのあるかなりこたへる秋深しそれらすべてを抱いて眠らう

深海にたぶん答えはあるだろう消えた海豚の電信が 波

電信が波の高さを推し量るそれらすべてを抱いて眠らう

青木健 @aokikenichi

菊池洋 @kikuti29 勝

まきぞの @amaibiscuit_

@kiyama_Lo あきやま

名のない果実



メンタライトは廻る

教科書の奥に林檎の頬透けて重力はまだ知らぬ月曜

踊り場の鏡に映るわたしたち似ているところほくろの位置だけ

目が合えば飛んで火にいる夏の虫フラスコを持つ手を滑らせて

「貸したげる」差し出されるは純潔のしるしのような真白なハンカチ

セーラーの解けたタイが宙に浮く保健室から彗星になる

三つ編みを解き合う時香るのは君に似合わぬ洋梨だった

この糸に名前がつかずとも良いの水平線にあっかんべえを

口元に面皰が一つそっと撫で爛れた恋の膿の現れ

深海の悲しみに陽は注がずに惑うサファイア揺蕩う心

溶け出したアクアマリンを飲み干して君が安らぐ海になれたら

手の中の光は闇に砕け散り君が降らせるオパールの雨

大樹からこぼれる露は幾千のペリドットとなり魔の刃に向かう

止めるほど脈は抗い生きたがる静寂を裂くガーネットの咆哮

本当が知りたくて今どこにいて私は溶けて琥珀は黙る

冷え切った君の指から外された痣の色して泣くアメジスト

その泡は消え貝に眠りパールとなる永遠宿した人魚の記憶

有 @arimura72 村 奈 都



@konoha__ao 藤 木 葉

@azukicreamcup 友常甘酢



あさ @cheri_fun9

永遠の欠片の夜に

わたあめ気球

星ばかり見ているひとに宛てて書く午前一時の群青で書く

触れるまで夜の欠片でできていて読みきる前にほろりと落ちる

遠い秋の匂いがします少しだけ右に傾いたあなたの名から

秋という不確かな季節の中の静寂という不確かなもの

永遠とすべく手紙も幸せも空も燃やしてしまいたくなる

永遠はほんとうに永遠ではなくて、都合の良いものだけを抜きとる

ああそうだ、星々にすら死はあって真実だけが仄かに光る

真実という傲慢をわたしたち、互いの傷として受け入れる

ペン先や渋谷で売ってる綿あめを真似しただけの夕焼けがきらい

明日は晴れお出かけ日和となるでしょう葉から流れた金色の露

あの虹は消えたみたいに隠されて。この夕焼けはまた明日ここで。

夏の夜溶かしてできたハノイ行き、機内食には流れ星3つ

ふつふつと星を煮込める日があれば浮かぶ飛行機すくってあげる

今日もまたどこかで消えた大粒の4時に降られてまだ眠れない

それぞれの知らぬ時間を吐き出して大きな銀で分け合うサラダ

会わずとも繋いでるならもういいの?それなら飛ぶわ、気球でバイバイ。

眞鍋せいら

@biscuitfortess



entonashi_haya

@BlueAmberDay



etramponponpon

似た者同士でやだね来世ね二人手を最後に振った感じまで

運とかめぐり合わせの良さをもっと誇ってみなよ歌になれるよ

確かさに寄り添えなくて冬の雲君の知らない駅にて一人

げらげらと笑い上戸に絡まれるぎらっぎらな星回りっしたね

さらさらな髪の質感思い出す心臓に這うやすりざらざら

血液型占いくらい妥協して照れを隠した天使呼ばわり

明け方の微睡みに住む天使には会えないらしい冷えた指先

変なの、と思うなら思えよ兄弟、冬の海も晴れりゃ青いんよ

静寂が曲たりえるなら情景も 二人海辺に付けた足跡

アイシング・ガールフレンド

ささやかな秘密がほしい とりどりのカップケーキを分け合いながら

着色料まみれの砂糖が乗っかったケーキを割れば嘘がぽろ ぽ ろ

スカートをすらりと払うでも敢えて素敵な誤解はそのままにする

完璧な人の少しの綻びを見つけてもっと甘くなる「好き」

人を恋うとき弱点が増えること、どうか気がつかないで微熱に

溶けだしてゆくチョコレートべったべたな言葉をかけて困らせてあげる

てのひらを差し伸べられてチ・ヨ・コ・レ・エ・ト 一足飛びに壊す距離感

反撃のように本音が暴かれる君の作ったカップケーキで

®cana ましま

ましまゆり



小田たく

4

@cai5040 × @he_is_nothing

海

祈りの食卓



ひすいライン

夜九時も外が明るいこの国でペンが何だか騒ぐ秋です

明日から長くなりゆく夜のむこうへ

餡を炊くこともお祈り

振る舞いの豆のスープが温かい 祈りのたびに母国を想う

食べたことないものにする。スーパーの棚にまみえるレンズ豆とわれ

スーパーで SUSHI を見つけるタイ米の 文化はこれだから面白い

パクチーもレモングラスもないけれど海老は売ってるスーパーぬまた

今日もまた少しのエビとオレンジを買って乾いた街を行きます

ゴビを超えタクラマカンのはるか西へ海のことばを パスタ茹でつつ

風花がひゅるりと舞えば北行きの電車は駆ける翡翠の岸辺

始点とは終点でありホームから見ゆる水面は雪を呑みたり

ゆふぐれは照らさざらむや灰色の空に浮きゐる碍子の白さ

座席のみ温い窓辺に寄り添えばうき世を渡るかもめは一羽

踏切のBPMは120 一両列車のやがて来るらし

心臓は早鐘を打ち肺胞は青信号の海が満ちゆく

追いかけむ終着駅につくまへに瞳に満つる蒼さへ忘れ

忘れない始発駅にて呑み込んだきみへの言葉お守りにして

鈴木智子 @cfun820_ts



乃

@chari433 蒼音

青時 @madobenoumibe

αの翔くん、Ωの空くん

拝啓、 かつて海

好きなんだバレーボールと尋ねられ君がと言えず一年がたつ

はつ夏の腕を風切り羽として俺は翔び立つおまえのために

床を蹴る君の靴音聞きたくて自室で一人ボールを放る

手を掲げ「来い!」と叫べば完璧なトスが来るのは完璧な恋

勝利して友と抱き合う満面の君の笑顔で三回抜いた

淡雪のようにΩの君のくび夜の深さの番の歯形

名前なに?どちら似かなあ未来絵図描くだけならただだったから

ボールより重い「つばさ」を抱き上げる腕はおまえと鍛えた翼

どこまでが傘をささない雨なのかわからないままあける玄関

人4人詰め込んでいる誰一人濡れるべき人などいないから

まだここにいさせてほしい水滴が撥水コートで流れ落ちても

流れ落ちても海となる定めなら決壊すればいいよ涙腺

手のひらの涙もきっと還るから次の休みは海に行こうか

江ノ島の間の一途駆ける ああ、海と或いは踏切のうた

ゆりかごの(いいえ、或いは胎内の記憶のうたが寄せては返す

百年後忘れ去られた歌人から届く返歌の知らぬ筆名

®Chihiro_Senjyo 千仗千紘

· ///

®Fuka_Kasahara

@chihayatowa × 星野いのり

餃子

浜松氏と宇都宮氏が浜松市と宇都宮市で交わした軌跡

すいません餃子追加で(今日こそは終電を逃してしまおうか)

連絡をブルー、

イエロー、

グリーンにもしてるだろうか雨の首都高

お土産に焼売を買って帰ったら餃子が翌日いなくなった

ため息と共につつけば赤い糸みたいなラー油 その先に宇都宮氏

あまりにもきれいな羽根がついたからこのまま逃がしてあげたくなった

占いに背いて行った王将で出逢うやっぱり運命ですか

まっしろなシーツに包まれた餡は互いの肉を貪りつくす

そうやってできたのが僕、 新しい世界、夜空に輝く餃座

スピンオフ

今日やっとひとりとひとり 恋をすると五人でひとつの正義など邪魔

小物にも服にもピンクを入れないであなたはわたしをわかるのかしら

雨の日に敵のアジトで捕まった時以来かもふたりきりなら

悪に落ちてあなたを狂わせたかった ヒーローだもの叱るでしょうね

「プロポーズフラワーですか」そうなのか二色のバラの花束を買う

踏み潰す手前で避けたアーケードの老舗の月餅買っていきます

トランジスタグラマーなのを戦闘服では気付けなかったハチ公の前

0N0H@CHON05 @psyche_mimori Shiduka Mai

ともえ夕夏 @croissant_hey_z



@amefurashi3107 雨 虎 俊 寬

きみの読む歌が好きだと教室のベランダ越しに叫ぶ放課後

声色も知らない友の称賛が風をはらんで歌になってく

順番に卒業証書を染めてゆくこれは最果てを目指す旅路

それぞれが色づけされてゆく旅を経てまたここで虹になろうよ

プリズムとしての五感を携えて教科書のない日々を学ぼう

どんしんくふいーるはすべてうまくいくためのじゅもんで、書は捨てました

僕たちは言葉の粒で道作りひかりの足跡残すウィザード

詩になれず漂っている言葉さえ僕らで拾いあつめ歌うよ

夢八夜

信州のどこかの町であなたへのお土産を買う夢をみました

あの夏の入道雲を綿菓子にして頬張った夢をみました

ことことと鳴く野良猫を追いかけて海まで歩く夢をみました

あなたから届いた手紙の文字たちが音楽になる夢をみました

降る雨が染み込むところから夏が色褪せてゆく夢をみました

晴天の秋の日君の号泣で洪水になる夢をみました

オリオンの星のひとつが君の手に堕ちて輝く夢をみました

飼っていた小鳥が逃げてコンビニに相談に行く夢をみました

泳 二

@Ejshimada



@kotori121520 ことり

犬口マズル @dog_muzzle

@output_fall 阿 部

啓

telepathy

いま、猫が来たわ。 あの頃よく見てた映画のドロシーみたいな瞳の。

キンモクセイがまるで砂時計みたいに落ちるの見たよ。きみ、嗅いだかい?

雨の日に小春日和は春じゃないことを話したよね、 あ、止んだ。

猫はいまも遊びにくるの? ベランダで吸う煙草とか雨、好きだった。

どうしたの今日は遅いね静かだね何か悩みがあるなら聞くよ

ねえ君の前世は天使じゃないのかなこんなに笑うのいつぶりだろう

僕の名をかわいい女子が呼んでいる名前はえっと、えーっと、えっと

街灯に差しかかるとき見覚えのある背を見つけた声かけようか

動いてる影が僕だけの帰り道誰かとなりにいればいいのに

灰皿に金木犀の花びらを泳がせたまま過ぎるよ、 秋は

十月のたびにきみを思いだすよ。覆水盆に、というやつなのに。

こぼされたミルクの痕も消えたから忘れることをやめて生きるよ。

T字路に別れたけれどまたいつか繋がるかもね。新宿とかで。

みのりゆく

文化祭委員をやろうこの秋の君の笑顔を毎日見たい

知り合って数分なのに即答でいいよと言った僕は不思議だ

特別な秋になりそう右側に君が歩いている帰り道

@enomotoyumi1007 榎 本ユミ



@kotawarakisuta 俵 鱚 太

@EtlssXvxwrsiEQj

北 町 南 風



RUKA @yanakasyoga

ゆうえんち



砂浜のレプリカ

メリー・ゴー・ラウンド きみがまだ空を飛べてた頃のことを聞かせて

『次はあれ行こうよ』ぼくの手をひいて駆け出すきみの背中にも羽

ヴィーナスは明星と呼ぶ 迷いなききみの右手はたまにまぶしい

止まらずにロマンスに落ちていきたくてゆっくりあがっていくコースター

溶け出して消えたい ティーカップの中で砂糖のような甘さ残して

最後にと誘ってくれる観覧車は世界で一番甘い乗り物

今ならば届くだろうか明星に 虹の軌跡を追うゴンドラで

星に手を伸ばして飛んでいきそうでつかまえたんだぼくだけの星

久しぶりですねと言われふり向けば見知らぬ人の満面の笑み

中学のたしか、はなしたことのない加藤さんからとどく宅配

望まれるままに姿をかえてゆき僕は鏡にうつらなくなる

電話越し途切れる声の隙間からしきりにこぼれ出す波の音

鳴き砂をふみしめゆくとひとつずつ再生される罪そして罰

見え透いた嘘だと思う(でも嘘と希望はどちらが脆いだろうね)

材料に生まれただけのからだでも抗うことを希望、と呼んで

まだエンドロールは遥か

濃い影を引きずりながら朝焼けをゆく

@ewis_0411_note えみ

@SuzukiTomoka106 木智 花

木精良 @fufunag

@May_Rock_2096 若杉有

雨が止む

千重の一重を戯れに

雨が止む心地よさとは何でしょう あなたと共に味わえますか

心地よき雨に濡れゆく朝のあり十月という慈愛の国で

ワイパーで晴れた視界に虹がみえ慈愛の国に車を寄せる

ゆっくりと時計を外す 汗ばんだ肌の記しは虹の如しも

時よりも雨音で知る深呼吸 風の合図に身体をゆだね

同期してゆく呼吸音 キンモクセイ散り敷く境内に影ふたつ

花びらを踏まないように敷石を歩む二人の願いはひとつ

苦しいほどに香りたつこと 見あげればうっすら白い巻雲うかぶ

(決められた交わりだけの恋と知る sinθ cosθ)「波が変われば・・」

(ひとつまた色がくずれる決められた手順で風をうけいれて空)「・・・」

(正確な手順できみをほどいても請う瞳がゆらぐ歪んだままで) 「・・・」

(繋いでた手のぬくもりが見せかけであってもあたし)「嬉しかったよ」

(わたくしとわたしを使い分けられる程度に)「俺は汚れているよ」

(ストックがないなら今日の天気なら) 「プロポーズしてくれて良いけど」

(装飾も口実もない弾丸で傷だけ残すから)「忘れない」

(刷り込みのように見つめるその先は私はあなた貴方はどなた)「・・・」

@tukami_yukyaku 深水 遊 脚



@delpradoshiho 穂

蛍

ぐり @naminomina_

@garaketta 須 磨

さよなら、 あおいろきりん

月下美人のひらく夜

眠れない僕にください肩凝りの辛さを知らないキリンの夢を

熱を出すたんびに夢に現れる右肩下がりの昔のおとこ

それはまだ記憶でしたか? 思い出に届かないまま消えたあの人

海馬には青いキリンが棲みついて土曜の夜はギャロップします

まだ青い林檎を噛り忘れたい人の名前を並べても雨

きらいきらい、雨の匂いもお陽さまも避けて飛び込むプラネタリウム

地球儀を回し続ける朝も夜も全部飲み込む強さに焦がれ

指先でなぞるアフリカ大陸のキリンの群れの夢をまた見る

おおはしけんじ

野

@nonaka_miyuki 中美 亨

@gc0084az7

別にのどが痛くないのにのど飴をなめるようにわたしを慰めて

内線も取れなくなったよれよれのわたしに少しその火を分けて

のど飴の噛んだ場所から生ぬるくはちみつ漏れて別れて四日

甘皮に保湿クリーム塗り込めて明日も生きていけますように

手に取った化粧水が指から漏れていらないものを保湿している

クリームがたっぷり入ったドーナツも溢さぬ丁寧さで LINE 消す

やわらかに粉つけたほほドーナツを選ぶ目つきでしんと撫でられ

仄赤いろうそくの火がふわり揺れ微かな熱で私を撫でる

滝 @genso_aose

藤 青 瀬

5.74ft @574ft

シロ



白いからシロと呼ばれるその犬の親犬もその親犬も白

しきりと風を立たしめて野のいちめんを毛づくろいせり

ご当地の蕎麦屋に入る冬の日の遠心力に振り回されて

冬の丘

してもいい遠回りをしている旅よ あらゆるささくれが癒ゆるまで

面接にばっくれたことも遠回り/近回り 雷鳴の天窓

盛炎のうねり 生活はばっくれられずコーヒーと焼きほたて貝ひも買う深夜なり 一夜を越えてゆく列車に乗ってほしいあなたも

朝の日のきざしはじめの涙かなひととの縁はしらじらと燃ゆ

来なくてもいい

再開や出会いに取り囲まれながらとおくを見ているきみとハチ公 今日をどう思い出すだろ、ハッカ飴くちにふくんで待てば涼しい

もう春になりかけている駅前で鳴かない犬をすこし撫でてた

相槌はとぎれとぎれに沈丁花こんなところに咲いていたっけ

空席のベンチに風が吹き抜けて葉擦れがずっと小雨みたいだ

呼び方を初期化したとき足元で見慣れたハトの影絵も解けた

夕暮れをとどめられずに目をつぶる

ふたりは固有名詞じゃなくて

知るときは来なくてもいい、それぞれが二秒違いで振り向いたこと

@gun_Ji_wowowo 郡 司 和 斗



@et_s4 狩 峰 隆 希

浦 Ш @gurigurayuki ゆきこ



@Tomoko_s0212 櫻 井朋 子

水中花、 溺れる

ここからだ 飼ひ殺されてゐない手をあなたとつなぐ秋の路地裏

透きとほる首輪につけた迷子札 戻つておいで凍える前に

突然の川にすこしは驚いてほしかつたけど 扉を開ける

えいゑんの波として飲み込んでゐる あをい匂ひの中指さへも

そのあをの透きとほるときつゆ草がふたりの露をじわとたたへる

結ばれてゐる結ばれてゐるたとへ茎は花野に溺れてゐても

夢はまだつづいてゐます旅人のまつすぐ果てる湿りはいのち

やはらかに世界を閉ぢるくちづけの種を散らして お帰りなさい

やわらかなサ行

借りたまま離れてしまった本からは潮騒がして夏を呼んでる どの本屋にも負けてない。ささやかに好きだけ並べた背表紙の海

さざめきが耳を塞いであの日みた夏の星座は思い出せない

耳にまだプールが詰まったまま受ける国語はクラスが優しく揺れる

新しい季節が窓をすり抜けて、

はためく国語辞典のサ行

愛の数だけこぼれ出す窓あかり「サミシサ」の意味は私が決める

透明な愛に流れる静けさがほどいた指に残すぬくもり

やわらかな小指で結んだ約束はたとえ果たされなくても約束

@HARUHI_little_s 春 陽



@utatane_no_kimi ササキ ユ ウ

@hakamada_shuka

@rou_tanka

田

朱夏

みなとぐちから



【みなとぐち】風の強さを受け止めて 軽々 かもめ 飛ばして いった

ちぎれたら、 かもめは声だ この喉に曳き波白く残したままで

散り散りの声はひかりへ移ろいて誰に触れれば応えてくれる?

灯台は肩のあたりがさびしいね すこし長めに汽笛を鳴らす

振っていた手はポケットへまた戻る袖のボタンの小さな錨

曇りなくこの身を船に例えても

私

のほか乗せられぬ船

グッバイで始まるサビを思い出す、 時に掠れていたその訳も

なぞるまで気づかなかった走り書きの楽譜に海の面影は濃く

初めて知る、 マロンクリームの味が

嫌いにならないことを祈って

マロンパフェ、食べに行こうよ金曜日。部誌の編集頑張ったから

目の前にいるのにわざわざメールなの?もしかして、いま照れてたりする

照れてない!いいから早く切り上げてカフェに向かおう?話があるの

そういえばマロンクリーム食べたことないんだわ モンブランとかも へぇ意外かも。楽しみにしていいよ!あの店の栗おいしいからね

なにを話そうとしてるか知らないけど君が好きだから、安心してよ

唐突に好きとか言うのは反則!話したいのは進路のことで、

「受験勉強したいから別れて」とか言われたら水かけやすいね、カフェ

つちえこ 久 藤

0)

@Hatoba_Circle

@naekudo さえ

新 棚 @hccmono の い



陽 @ohisama_yume 辻 寿

蒼い夜

かんたんに抱きしめられてほどかれて涼むため来た夜の雷鳴

はじまってしまった二人に雷鳴が夜の黒さを裂きて響きぬ

この恋は若気の至りと決めている愛せよ夏を爪あと深く

二人してただこの夏を抱きしめる かなかなかなと蜩の鳴く

こひつじのレアな舌先ちりちりと焦がす今宵の蜩の声

想い出はいつもなにかがほの暗い最後の時を知るは蜩

終わらない恋なんてない終わらない恋なんて、また暴風雨の窓

強き雨いっそ二人を閉じ込めよ終わりなどない蒼の世界に

enibicore5 × eniromi_kadono p 为野裕美



人も歩けば猫に当たる

ICHIGOTSUMI DIALOGUE

陽だまりに溶け込む猫の名を呼べばしゅるんと動く三角の耳

前世から友人みたい 瞳孔をひらいた目から逃れられない

どこかへと駆けてゆく背を追いかけて ツツジの群れる季節の風よ

路地裏に誘い込まれて見渡たせば猫の事務所の扉はひらく

堅牢な扉の奥に猫たちの笑みの絶えない新世界あり

尻尾でも生やそうかなと踏みだせば忘れられない人間世界もある

冒険がはじまる予感(鮮やかな瞳に適うわたしになって

目覚めれば三角の耳揺らめいてにゃおんと消える真昼間の夢

次こそは朝日の空を信じつつ今は雌伏で歓喜を待とう

みじめさを感じてばかりの生活で次回の空は夕焼けですか

やわらかく雌伏しているスポンジを誰かのフォークが削る映像

スポンジの穴から飛び出すシャボン玉君の心を写すマーブル

慎重に君が割るから少しずつ穴を奪われゆくドーナッツ

ドーナッツを食べて舐めとる指先に私のこころも眼も奪われて

冬空をふと見上げれば箒星焦る気持ちも共に流れて

うつくしい接線として流星が夜空を少し舐め取ってゆく

@inari_karasuma



93bV37zIPYArI4Ja

星野珠_{まま}

×

、石勇斎朱吉

星結ぶ夜の



プラネタリウムのように見るだれのことも愛していないひとの横顔

首筋と肩のほくろをつなげれば生まれるだれも知らない星座

へんな夢見たの、ときみは星屑の残り香髪に煙らせ笑う

夏の残りをかぞえてる ねえ、あれは天体が消えるときのひかり

こころさえまぼろしですか 晴天のそこだけ欠けている昼の月

ソラリスという名の香水がゆらゆらと揮発してゆくゆうやみの窓

雨水は銀河のように蜘蛛の巣にひろがりきょうもだれかの訃報

水族館のいっとう奥で心臓も脳ももたない海月はねむる

鰓呼吸

カーテンをしめてひかりは届かないわたしではないものになれない

息を吐くあなたの編んだ繭だからその背に羽は備わっている

猫っ毛にりぼんをかけてこの日々は未来を飾るための花束

灰色の透けるりぼんに似たひれを靡かせてみる水に委せて

おさかなの泳ぎはとまり夢をみるあいだに渇くわたしのからだ

砂のない海で飼われていただけのうつくしいさよならなのでした

やわらかい暗闇のなか曲線を伝ってりんと響く体温

ともだちにふれられなくて清潔な手で骨壷をあたためている

@K_erinnerung 野 景



@tsukamotoririko 本凜 々 子

@kamott_07



高 @ our/Upercent 野蒔

灰とシャンデリア

温かく 柔らかな君に 包まれて いつまでも眠る 幸せな日

君を抱き 目覚める朝が 幸せで 夢ならどうか 醒めないでいて

よく眠る あなたのことが 愛しくて 起こさぬように そっと口づけ

昼過ぎに「おそよう」だなんて 起こされて 夢も現も 手に入れたみたいで

いつだって 可愛い私で 映りたい 目醒める前に そっと紅さす

可愛いと 言えばさらに 頬に紅 のせ愛らしく 夕暮れのよう

窓の外 昇る夕陽を ちらり見て 愛しいアナタを 包み込む

空と街 闇に消えてく 境界線 重なる二人 軋むベット

舞踏会、楽しい?僕には水槽の魚のほうが綺麗でいいや

これほどに明るい夜は二度とない灰によごれた私の顔に

透けてゆきそうな瞳にきみだけが僕のむこうの光を見てた

あかあかと輝く城に一度だけ来てみたかった馬車に揺られて

喜んで手を取りましょう明日にはおぼろに消える夢と思って

めぐりあうために来たんじゃないきみとなら今夜だけ踊ってみたい

握ったら知りたくなったきみの手が白き荒野のような理由を

かじかんだ土に灯りをさしかけてあなたは冬を不思議がる人

®kazanagistreet /



②Shakufur 堂那灼風

@kanokanoko13 × 水戸 一

シネマ・デー

その先の凪

ふたりしてポップコーンにはしゃぐのは映画館という魔法のせい

検温のサーモカメラに映るのは微熱一人と平熱一人

流れてる新作予告 この恋は吹き替えじゃなくて字幕がいい

開幕でキミが笑ってくれたからリラックスして本編を追う

反射したシーンが照らす横顔につたう涙も映画の一部

タイトルはなんてつけよう同じもの並んで観れた今日という日の

切り取ったエンドロールと今日のこと全部愛して財布にしまう

観客がすべて帰った映画館またのお越しをお待ちしてます

変化などもう望まない君の目に映る光をそれでも探す

眼差しが時折不安な色になることをあなた自身はたぶん知らない

コーヒーがコーヒー色のまま冷める気づかぬふりは正解なのか

探るのはやめて素直に話したい終わりにしたい気にしないふり

アルバムを遡っても見つからない笑顔は視線を上げればそこに

知らぬ間に増えた私の笑い皺あなたのまるい声がおしえる

常套句だけでは足りずとりどりの光を添えて君の名を呼ぶ

消えかけたぬくもりをまた感じてる二人で向き合い過ごす時間に

ノ瀬ケイ

@kei_ichinose31



@kuroinogaboku 真 野 陽 太 朗

楢 @kiharaneko 原 も か



@_skydew 諏訪灯

Re: あなたの仕事

空をたどれば

朝七時オフィスにひとりいや、ふたり名前を知らない同士の会釈

その人の始業と私の終業が汽水のようにまじわるフロア

眠い日も忙しい日も雨の日もトイレの三角折りは綺麗だ

清潔なオフィスをつくるこの指のことは誰にも知られないまま

若いから、だからなんだよロッカーの鏡の女は赤い目をして

朝焼けに今日の終わりの輝きを見るのだろうか掃除のひとは

若さという鎧は軽くどこだって行けるあなたは自由に生きて

今日もまた「進め」の三角折りながらしずかに祈る朝焼けのビル

リモートで繋がる土曜日「会いたい」と言わない私に気付いて欲しい

この空をたどって行けばあなたまで着くか試そう、雨が上がれば

土曜日が土曜日じゃない振りをして二人の仲を試そうとする

木漏れ日と雨がさらさら降りてくる君の祈りの色だと思う

細胞の隅まで祈りで満たすのは恋する女のキレイの呪文

回復の呪文のように緩やかな君の LINE を口にしている

緩やかに私の中の「サビシイ」が消える音する次の約束

雲のちぎれる音がして「会いたい」が彩度を上げる

会いに行きます

野添まゆ子 × 青山

®kimura_tanka

®karasunosan

ゆるやかな死

陽光

一本のストゼロだけで抜けられる不安を夜と形容するな

いちばんにさみしい朝だダンボール製の馬でも木馬と名乗れ

真夜中はごとり木馬に揺られてもいいよかじかむ夢は正しい

いだかれる苦さたやすさ隠す夜に融けよと誘う盤上の馬

融解を待ったアイスはまわりからゆるやかな死を迎えています

零れ落つせぼねにふかく床という床の冷たさ 置いてかないで

サイコロの2を出すだけで過ぎ去った束の間だけのあなたが嫌い

鐘に散る馬車も硝子も葬って越境せよ煤の素足で跳べ

こわごわと含む炭酸はじければくしゃくしゃ笑う海から来たの

ちさき手の伸ぶるその先見つめをり言葉の前のことばさがして

ぱしゃぱしゃと水たまり踏む子らはみな王様の笑みほらほら見てて

ふさふさの睫毛に午前のひかり落つこれはなあにと眩しげに訊く

頬寄せて君の角度で見るひかり母もおなじく見たのだらうか

セロハンを繋ぎ合わせて蝶にして変わる世界を一緒に見よう

「おみやげ」と君摘み帰りくれし花陽に透かしたき乳白の花

名も知らぬ花、

空、

雲を指差しつ長く長く影は伸びゆく

· 麻衣

@kobe_march_kobe



木黎

@_00Ushio 潮

@konnomizube 水 辺

@domina28526671 domina

ときつはし

小夜更けて月は空を傾くも思ふ心は残り居るかも

この星は青く、 それでも回転ってる 僕らの想い置き去りにして

天津日も月と重なる世に吾とあるに向けるは言葉ばかりか

音のない海の真底にいるように時が私を置き去りにする

雨が降り置いてきぼりにされたなら長靴履いて追いかけていく

類杖をついたそのまま見やる外黄色い傘が開いた十時

昨夜から降る秋雨が今朝もまた私を此処から出してくれない

月よりも遥かな君にくちびるを重ねるための船が未だない

遠きとは汝が心こそ来ぬ人を思ふもつきを留むる人やは

だから僕はこの身を棄てる果てなきを過ぎ来しを超え君に逢うため

昼も夜も夢の中にもふたりいて覚めても夢の続きのように みをつくし流るる時を遡り尋ぬる舟に戸を開くべし

雨降って

時を駆け君を射程に得た頃にこの衝動を言葉でつかむ

いつの日かつかまれていた衝動を昔語りにできるだろうか

ふと肩をつかまれ振り向く君の目に私の顔がしかと映った

そんな日もあったっけねと笑いつつ君と歩く雨上がりの道

@kotobawakeTanka ワケ



月岡 @ujou3 烏 情

か す @kouhei_wilco 体 力

とり



@honokaozawa か

小澤 ほ 0)

近況報告

しまなみ往復書簡

聞こえないふりをしている殻の中しじまにまろくノックがひびく

オムレツを作ろうとしてつい4つ割ってしまってまた少し泣く

恐る恐る殻を割る羽に包まれる愛がうまれるよが明けてゆく

おはようと微笑むひとがいなくてもいつも通りの満員電車

ひな鳥はおしりに殻をつけたままロマンスカーに乗車しました

あの日見た景色が滑る車窓から取り残されてまた巻き戻す

点と点を縁で結んでつづら折る旅の歩みはスイッチバック

幾重にも折れ曲がり行くこの道の先は見えずにそれでも歩く

二年ほど海を眺めて待ちましたあなたがいない瀬戸内海を

さざ波を煮詰めたブルーブラックでつける日記はきょうも丁寧

ヒトカラで恋しくなって色々な意味で君へと寄せるサウダージ

すきだって言ってた曲がラジオから流れた夜は温泉へ行く

発車際窓開け叫ぶドップラー効果であなたのまたねは低い

ギムレット呷った夜がオリオン座流星群と共に明けゆく

やわらかく金木犀が落ちた朝「おはよう」とだけ LINE を入れる

軽やかに踊るうさぎに背負わせた想いよ先に海を渡って

篠 永 共 佳

南

@mi0_31o 美桜

@куо_са112

@kurousa1046 黒兎

@hiiragi_hiziri 柊ひじ

29

105ページ

おすすめと貸された本を少しずつめくって探すきみの琴線

文庫本一冊分の空白が恋占いを買って出ている

長々と続く面談まだ何も言えずに外を見れば飛行機

2学期が終わる日までは夢を見ていても良いよと現実が言う

水道を上向きにして飲む水の冷たさだけが溢れていった

青春の零したものが夕焼けの茜に溶けて図書室に秋

じゃあまたと本を渡したT字路は左右に真っ直ぐまっすぐ伸びて

私のと違うしおりが大好きな105ページに挟まっている

「秋映」

羅の鬼女は戯れ赤蜻蛉追いかけ渡る紅の湖染が

岩陰に鬼女の紅葉の炎え枝垂る隠れ山へと杉の参道

鏡面のゆらぎ母引く枯れ葉色紅はひさかた装いの日の

長閑なる里山飾る曼珠沙華朱くあかくと装いてをり

ためらいのワンピースまたハンガーへ辿り着けない林檎畠に

子を抱いて秀峰仰ぐ里道の向こう駆け来る君のタ

頬染めてこくり頷く君のため林檎を詰めて待っているから

烏瓜集めし子らの夕焼けに赤き背中に秀峰聳え

@iongmemo_tanka 井めも



た ご 団 子

@tago_d_tanka

@LT8MBfDEzzeHLq2 羅 粗 伊



澄薫 @Rean78645

晴れの引力/雨と沈黙

キョリ

紫陽花の始まりは雨? 勝ちたいは何に? 会いたいのはわたしたち?

曖昧な会いたいなんか要らないし毎回傘を置いてかないで

乾ききる頬 風の音 別れないための理由を探せてた頃 なにも言わなくても伝わる なにも聞きたくない

別れ話するのね

真下にはどちらもいない 静けさの増した街にはビニールの傘

消印が遠いところを示してる84円でうたは来るのに

沈黙は無音の合図 金属のマイクの代わりに握る手のひら

いないいないばあは嫌いだ

沈黙を続けるきみの愛は怠惰だ

無理をして大人のふりしてそばにいたことに気づいてたんだねきみは

『ところで』を『あのね』で挟む『聞かせて』も『聞いて』もこわくなっちゃ、だめだね。

ハイスクールライフ 何度も手のひらの上で転がすアイライクユー

いつか届けばよいなと口ずさむもうあなたには関係ないね

消えかけたぬくもりさえも愛しいと呟く君に俺を重ねて

アイライクユー 曖昧に散る感情を煙のように吐き出す銃口

冷えてゆく銃口

バイバイ、わたしたち

友情なんて空想だから

幾度目のつり橋だろう錆び付いた真昼の星を紡ぐあやとり

@maltase_cross ま

0

@oppizuntsuan 龍 翔

@narunaru0825 なる

@tlixster

兎陸☆(とりっくすたー)

なる

31

雨だれ前奏曲

不器用・ア・ラ・モード

台所に雨は降らないそれだけのことに救はれたつていいだらう

困ります

雨の降り込むベランダで育てよう。黄揚羽が食べ殘したパセリ

うつくしい雨に降り込められてゐるここが牢でもわたし此処に居る

二人ならどんな牢でも構はない。見なよ、あつちの空が明るい

止まない雨、が優しい比喩になるやうな世界で僕らワルツを踊(らない

雨だれは前奏曲だからワルツとか踊らなくても心は躍る

さう、これはこころの話。つぶやいて明日のパンを買ひにいかねば

パンならば雨も涙も拭けるからマーマレードはしまつておくよ

小雨から逃げてきました太陽のにおいがする髪に触れたくて

どうして昼に来たんです?顔がにやけて大変でした

言い訳はもう聞きません大好きなプリンを買ってお待ちください

不細工な自作ア・ラ・モードも見せられる 映えなさと愛おしさの擬菓子化

許します貴女の愛で崩れてるクマのプリンが愛おしくて

崩したいのはプリンじゃないのよとか言えたらいいのに「マスク、外して」

耳元に染み込んだ吐息の熱が炎になって朝を照らすまで 「はい、どうぞ」マスク外して見つめれば揃いのリップ共に溶かして

@nsmrakira 曜 @Z_Bozhi 佐 藤

博 之

西 村

妻ネトラ @NTR_s2s2

新

@BLVEWHET ブルーウェットふみ乃

最期の晩餐

真夜中の通話ボタンはぬるくって生きとし生けるもののララバイ

花束を抱える人とすれ違う、想う受け取るまでのストーリー

アローくんの注文したジンジャーエールだけが遅れるという伏線

スマホ見るアローの下手な息継ぎでお開きになる沖縄飲み会

どこからかリンダリンダが流れ出し降りるATMのシャッター

愛を語りながらサランラップ切る 小分けにされておやすみ、ささみ ソーキソバ屋の前ふたりいつまでもグリコしたこと忘れないでしね

冷蔵庫の青いかき氷シロップが夏の終わりを長引かせてる

もし今日で世界が滅亡するとして最後の晩餐は何がいい

コンビニのカップアイスの半分こ できれば誰かと手を繋いで

真夜中のセーブポイントみたいにさ、コンビニのある街でよかった

この街も明日は砂漠になるでしょう。アイスを買った記録は残る?

人類が砂漠の塵になるのなら砂丘は全部だれかの記憶

本当に必要なものはないかごの中身を飲めば来世の砂塵

コンビニの在庫が砂に塗れても僕らはきっとまたここで会う

何を食べるかではなくて君の前で食べる記憶があればいいのだ

りん2 @rnc_ssk_

@plum_republic

@musasa_ むささび

或 崎

半島

@tkg_2123

V

万間み B

33

標高一〇三六三メートル

あみだくじ

『遠い日にあなたと踏んだ雪よりも雲より高い山に来ました』

モノクロの山を見上げる 君たちが登った山に私も挑もう

『登ったら降りるものだと教えられ降りられません、なんで、どうして』

雪上に君の痕跡探しつつひたすら登る、静かに登る

『この場所が墓標だ、だからあなたには来ないでほしい』(みつけてほしい)

凍てついたカバン、服、髪、とけた肌「こんなところにいたのか、君は」

『けれど尚来るなら夢を託します あなたは山に愛されたひと』

「ゴーグルをもらうよ」一緒に見に行こう君が目指したあの頂上を

眠すぎる講義を抜けて会いに行くとかできないしラインするかな

好きな人にしちゃおうかな眠すぎる昼を駆けてく手段として

階段を駆けてくきみはサンダルをぽろぽろこぼしつつ笑ってる

ライン来て千年後には残らない変なスタンプ今使っとく

今も意図を掴めないけど風船は飛んでるときがきれいだしいいや

ジーンズの上から掻いて爪青いきれいじゃない妄想うまくいく

上手くいくようにできてるあみだくじ ばかと思われたくて走った

はしゃぎ気味の身振りで喋ってくれている

いいと思われたくて笑った

さめない @samenai33

@ruo129 ルオ

@yukari_rito 悠 佳里

@_tnnt. 田

中は る

News Morning Ape

図書室の窓から

「ニュースです、ハッピーターンの粉末に薬物規制がかかるようです」

「渋谷ではHPT合法化を求めるデモが開かれています」

(ポケットにハッピーターンを不法所持するキャスターの虚な瞳)

「多幸感及び倦怠感を引き起こし常用者の目は濁っています」

「コンビニで買えるドラッグ゛ハピタン゛は世間に広く支持されましたが…」

(画面には黒をバックにサラサラと山盛りに降るハピタンの粉)

「副作用として呂律がまわららくらる症状もれれいるようれる」

血走った目を見開いてキャスターは叫ぶ「明日も良い一日を」

また誰か開くのだろうこの窓のひかりの手触りの一ページ

とりどりの色を孕んだ雨音の踊る様子を見上げて歩く

囚人に見えますか此処に響くのは世界を満たす静かな喧騒

色の無いつもりでぽろり零れたる言葉を拾う手のひらに虹

冷えきった手をポケットに突っ込んで確かなものを確かめてみる

身の内に熾火を抱きいつからか同じ灯りを街に探して

青白き路の灯りをひとつずつ摘み取るほどにきみが遠のく

一筋のひかり書架には忘らるる詩の眠りて目覚めを待ちぬ

@Morning_Okilu 田 お きる

朝

四辻さる @saruyotutuji

@sasurainoyume ケンイチ



野川 @nogawatomoki

さなぎの見る夢

春の巣で

ふんだんに秋の夕陽を浴びたからきみの笑顔はとおい日の雲

あの空の雲の鱗になりたくて夕陽のかけらが転がってゆく

空から降る鱗みたいな落ち葉たちかき集めては両手ですくう

君の手に紅葉がほわり包まれて空が冬へと泳ぎ始める

初雪が樹に降り積もり眼裏にたったひとつの桜花笑む

冬いろを壊さぬように透けるほど淡いルージュで春先に立つ

くちびるに風を受けつつ若草の露のきらめく丘駆け上がる

僕たちの願いが羽化をするごとく丘の上では風がほどける

君の男で

黒板に書いた「わたしはここにいる」チョークの粉は飛沫のように

教室にいないわたしの詠む歌を面白い!って言った先生

すれ違う人よけられず二回目のクラスに居場所狭くなる春

赤本の添削ノートに挟まれた先生のメモ大事にしまう

先生が恩師になった春の巣で似てる羽色のあなたに出会う

先生に連れられ同じパスタ食むはじめましてのあなたとわたし

友だちで妹弟子で月の字をもったあなたといま歌を詠む

滑走路生身で走るわたしたち過去のすべても今は愛せる

@satohio_tanka



八重森さくら。

@yaesaku0329h2

®seika131ichi



®pi_natsu1127

拝啓、かかと

説明書のない真夜中の国道で六等星の僕らは足掻く

狂うほど君に会いたい夜を越え冗談みたいなヒールを履いたくるぶしが冷える今年の足音が日向とともに遠のいていく

ターミナル最終列車を見送って真っ更になった立ち位置を探す

素足ではもう歩けない月曜を終えたら次は火曜日が来る

ルートから外れて歩く振り出しに戻れのマスは踏み抜いて行け

気怠げな夏の足首まわしつつ明日辞めていく同僚のこと

遠くまで行ける気がした月曜日新しい靴踵を鳴らす

®shitto_ri_ngo × ®no_nishi



ぎこちない夜

遥かなる旅路へ

寂し気な瞳に出会う思い出をスノードームのように覗けば

例えばそう血に染まることも厭わない恋というのはあるものですか

血だということに気づかなかっただけ刃に触れてみたかっただけ

愛するものを必然的に傷つける生まれついての刃を持てば

指紋ではなく赤い血が伝う手を愛と呼んでもいいのでしょうか

痛みとか血とかをすべて受け入れて初めて届く、愛、なのかな

くろがねの両手でつけた傷跡が愛の記憶にいつもピリオド

真夜中に二人で観ればそれぞれに違う孤独をそこに見つける

空へ向け凍結魔法を放ったら南の島に降りしきる雪

半袖のミスリルメイルを強化する夏に負けない凍結魔法で

南国の雪降るギルドで杖を買う僕には僕のニワトコの杖

ギルド長の末娘から受け取った魔力まとったアンクレットを

パーティを結成してから早五年冒険の書の余白を思う

きらきらとアンクレットが輝いて冒険の書にひかりを投げる

新しい大陸へ向け出発す魔王の城はまだまだ遠い

最後には皆で笑おう魔王にも勇者と同じ紋様はあり

@sixia0uT8BMBlgp



岡 繁 樹

@no_shigeki

@suikakinenbi 中 翠香



@Chikorin7

知己凛

鴇巣とひかるのいちごつみ

酒に映る月・明日を待つ月

価値観の、主に脂肪と体重についてのそれに相違がありました

脂肪分多めのアイスクリームを選ぶあなたの剥げたマニキュア

本当に存在するの?ランキング80位サワークリーム

猫として彼が存在した街の各駅停車なら停まる駅

停車して、そしたらすぐにさよならを言わなきゃだめだ(泣かないうちに

さよならに慣れたあたりでひとまわり大きいさよならがやってくる

3つしか大きいスプーンがないからパパはちっちゃいやつ使ってね

嬉しさを分け与えたいスプーンで掬えるほどの愛情だけど

死にたくてそれでも明日も生きるから月見団子に山葵を入れる

居酒屋の隅でゆるりと手酌する清酒の銘は「大きな希望」

明日が来る楽しみがない病院で退院だけが小さな希望

山小屋のやかんで酒を注ぐオヤジ清らかな水教えてやると

山小屋に忘れさられたハンカチは白くて月の光を受ける

まんまるで月が綺麗と言ったけど愛していると言ってないのに

結婚の祝いに好きな絵をひとつ金の額縁コスモスの花

コスモスの花を手折りに行きたくて一息に呑む丸い錠剤

、ひかる ®h1ka_

@suno_tanka

®suzume12312

×

かなた小秋

@KanataKoaki

つくえの海



のこりものに福なんてなく購買のすあまとペアを組まされている

五限目の古典にシロナガスクジラは寄せては返すまぶたを泳ぐ

窓際の彼女は船を漕ぎ出でぬ黄色いペンをオールにかえて

部活動紹介の時あんなにも仲良さそうだったじゃんバスケ部

人のいない教室まっさらな黒板空にひとすじ白墨の線

コンビニの光しかないこの町は都会でもなく田舎でもなく

走光性、 きのう習った範囲だねひかりにむかうあたしたち蛾かな

進路希望に花屋と書けば叱られるだろう未来の星 十七歳

スカートのポッケにドングリ入れながら〈森の秘密〉をキミと探すの

温もりを分け合う右手探してて 赤い手袋 持て余してる

しゃりしゃりと葉っぱをふんで走ろうよ 赤いスカートきらきらしてる

何もかも手放す指を捕まえた『さあ奏でよう』僕らの歌を

嘘つきとキミが咎めた唇で鏡に向かい愛を誓うよ

濡れた瞳が金に光って綺麗だね 触れられなくて ああ狂ヲシヰ

いつまでも私と一緒にいるキミの瞳に映る月は見えない

緋の月に魅いられたのは僕とキミ 永久に生きよう ー〈私〉 とともにー

@syk_1129 肖 @__anoi__ あ の 井

御

燈

@tadayou_k 海月漂

魚返み

h

@okaeri_mirin ŋ

放課後に咲く

かなしいねあなたと言葉を交わす度わたしのくには焼けた野になる

黒々とした夏の陰たち踏みてゆく、二度と分け入ることはない庭

ケムにまく言葉とともに野焼きする原には夏の茂りあるやも

誰だってひとりで死ぬわ、 雨傘の中で姪っ子りんと呟く

弁護士に御礼を述べて新しい私に向かう虹は背にして

それよりも問題なのは傘の字は密過ぎるからマスクしましょう

問題はないよと嘯くそのたびにひとりぼっちで野に立つような

解答もないはずと言いまた旅に出てゆく君の少し前ゆく

それよりさ俺からの問一だけど先生、好きになっていいかな?

問題にもどりましょうか見つめてもわたしの顔に答えはないわ

ねえ、先生、きれいだよ。ん?焦ってる?きれいだよ、ほら、この雨の音

問一の前に伊勢物語でしょそろそろお口にチャックしましょう

そうやってすぐ「先生」を演るところ大嫌いだよ壊してあげる

壊せるなら壊してみせてどうせなら業平みたいに三十一文字で

帰さない君を支える強がりがはかないことを確かめるまで

秋雨に季節はずれのかきつばた咲かせてきみはわれを攫えり

@taken_suganuma 沼ぜ り



@aomura10106 村 豆 + 郎

@tancaloid_ginga 田 銀河



@madame_kir

ゆらゆら糸遊

社畜の作り方

童貞を殺すラーメンきらきらとハレー彗星大盛りふたつ

街を縫う常夜灯から駆け出してよだかの星を探しに僕ら

東京の終電かぶと虫が飛ぶくるりくるりと青春キップ

待宵にひとつ憶えた花の名をきみが食べたら真っ新な朝

ヴィーナスの誕生風がぴゅーぴゅーと信仰唱えるラップトップ

息継ぎも忘れて泳ぐ世界線ゼロでふたりは近似値のイチ

真実を捉える眼差しが欲しいくらくらと相対性理論

光速で解いたこたえは日々に溶け睫毛を埋めるスープの塩味

す で イー ラ

実印は紛失すると危ないし会社のほうで預かっとくね

実印の貸与で始まるラブコメディ ぼくが部長で部長がぼくで

ラブコメになんてさせない入れ替わりなんてさせない君の名はポチ

JKが隣に座ってくれるから僕にできることはまだあるよ

虹色の定義について考える部署は新社屋に移ります

この虹を僕に見てほしかったからデスクを窓際にしたの?部長∭

十二時になれば音楽かかるから音楽ききながら働いて

働けど働けどなお我が暮らし楽になお世話になっております

etanka_daiki

@chillynullwoe

花曇

たろりずむ ®tarrorism



@Kawano_tanka

パレット



祖母からの白米ひとりで量る朝七福神を丁寧に研ぐ

木漏れ日を噛みしめ手紙出しに行く郵便ポストは凛として赤

太陽のような目玉焼きの黄身はひとつで十分明るいはずで

あまりにも青すぎる空が偽物のようで手紙は届かないかも

感情はこうやって目にうつりだすゼラチンで固まった手羽煮は

確信にかわる想いと冷奴崩すおそらく今年最後の

真似るのは好きだからかもしれなくて豆腐が安いクスリのアオキ

スギ薬局で最安値だった綿棒の紙軸が強い

好きかもしれない

空高く上がれ緑に煌めいて祖母の愛したフウセンカズラ

あの庭でひときわ明るくオレンジに香る金木犀 切らないで

忠告は覚えてたけど従わずあなたと同じ道を歩んだ

ひとりでは降りられなかったすべり台ツイキャスしながら叫んですべる

ホイップクリームは低温でしか固まらない

風にさらした火照る掌

気が付けば樹は根をぐっと張っていて藍の夜空に夢を見つけた

ふるさとの方から空は紫に明るみわたしは今日も生きます

その人の聖地で笑いたいと思う

幻聴でも聞きたい笑い声

@teasnowonsaet 帆

菜

みそ

戸

似田

平 出 @Hiraide_Hon

奔

@tonitaichiro 郎

@kurumimiso

43

夢渡り

花びらの視点を借りてたわむれに GoogleMap で見るきみの街

就業時間よりもみじかい君の住む街までの六時間と少しは

ひとりでもパスタの皿をあたためて自分の余熱に安堵している

つむじ風 君がきみだけに聴こえるようにこぼす言葉もある 木の葉舞う

しばらくは離着陸のない空港のしずけさに似る 声は途切れて

じゃあまたと電話を切れば消していたテレビの黒い画面が黒い

シャンプーとリンスのボトルの遅い減りそれでもまだ会いたさに圧されて

別れがもし話したり手をつないだりしなくなることだったら今は

嘘ばかり覚えてしまう新月が今日と知りつつ犯す過ち

夢で会う人は子鹿のようだから朝の光が少し淋しい

宛先の無い手紙など渡されて私は月じゃないというのに

夜にだけ話せる言語さっきまで見ていた顔が思い出せない

留守電の母語さえ理解できなくて生き延びるのを少し躊躇う

見知らぬ街の見知らぬ海で何処までも貴方を照らす灯台ひかる

引用で知ってしまった名の方で呼ぶから夢で振り向いてください

あなたには名前をつけてほしかった言いたいことはたったこれだけ

@sun0690

oron*
@toron0503

小林 菫子



宗 谷 燃

プロローグの雨

国境を気軽に越える渡り鳥そのようにコーヒー運んでくる

コーヒーを置く瞬間に会釈するきみはどのように笑うのですか

金木犀やカレーのにおいをかき分けて仕事終わりの家路を急ぐ

美味しいと言って欲しいなタッパーを焦がして作った鯖の味噌煮を

雑談と雨との親和 何度でも知らない行を知る文庫本

透明な傘と猫背は滲みゆき街はしずかに水彩画めく

キャッシャーで交わす言葉のいくつかが帰路に咲き出す種子であること

楽しみに待ってた夕飯なのだろう「いただきます」の声が明るい

手洗いを念入りにする色つやのよい鯖味噌ときみを待たせて

おかえりとあなたの顔を確かめるマトリョーシカが並ぶ玄関

守るべき約束のない平日にいつか私が会いに行きたい

約束はいつ来ることも許されて街は開かれっぱなしの手帳

気がつけばあと二時間で明日になる夜を終えれば第一章へ

ある十月の

鯖の身をそれぞれ崩す それよりも鯖の味噌煮を食べてほしいきれいに骨を外してからね 歯触りのよい音を立てきんぴらがきみに小さくされるのを見る きみとならとうぶん生きていけそうである

@ruri_murasaki 瑠 璃 紫

ア

ナコンダにひき @two_anacondas

天 @uzume_no_hijiri 野うずめ



岡 @spice16g 田 奈 紀

佐

北の、 白い森



それらの光

白樺のざらつく樹皮よ晩秋よ思い零れぬように咳きこむ

朝焼けが白鳥たちがこわいとき無口なひとに初雪の匂い

曇天にぼくら何処までゆくだろう風は冷たくてのひらに熱

野いばらの実のくれないが突き刺さるその手を強く握り返せば

野分き立つなか庭に雪を待っていて野いばらがまた堅くする刺

明かせない気持ちのようなか細さで光る閉店後のレジスター

口笛が夜風に乗ってありとあらゆるシャッターの目蓋をおろす

さよならはいつでも雨でワイパーが星まで拭うように手を振る

道沿いにいくつもの灯が遠のいてサイドミラーは手を伸ばせない

凍雲がことばをひとつ遮って何もなかったような白日

ながいあいだあなたの左側に立ちただ風をあび空をみていた

ゆき、と言うあなたの顔は見ずにいた

ながいあらしの冬のはじまり

満月を剥がしたきみのステップがアルミニウムのような軽さで

眠れないエレベーターの内側にひとりぼっちで眠る1円

夜明けなど来なければいい遮断機はおだやかに星々を眺める

この夜が明日へ繋がらないように密かに灯る電話ボックス

夜 夜中さりとて @yorusari



うゆ @uyuni_tan

@xi_zhen_ivUT 西

鎮

@shueshueshu 愁 愁

宇宙人ぽこぺの地球体験記

かたおもい

ワレぽこぺ起きるんだケン地球では大罪だろう「ネボーシタ」とは

四本の指のぽこぺの箸づかい

僕も小指はつかっていない

十本足の怒れる宇宙生命体襲来ケンはまだかえらない

それカニだ、ただいまぽこペ、実家から届いたやつだ、海ってわかる?

足をもぎながら言葉にかえるケンとおいコキョウの゛海゛の匂いを

ぽこぺって夢は見るのかふるさとでいつか地球の夢は見るかな

この星は空から水が落ちてくるあのなないろをミヤゲにしよう

外で見たどうやら虹をこの部屋にくれようとしている 彼、ぽこぺ

掴んだら海だったのにだったのに草原にいた、 触れたくて伸ばした手の先掴めずに優しい海の色に溺れる 夕陽が綺麗

朱に立つ碧いあなたは泡になる置いてかないで連れていってよ

もう連れ去られても文句は言えないしパンに心臓塗りたくる朝

エトワール数えるだけの時間でもすぐにぐつぐつ沸く愛である

ナイフだけ残されたのは冷えた熱心臓だけが時間を刻む

愛が沸く浮かぶあぶくと消えるあわ海のあなたを忘れられない

洗い流してもまた泡立ってゆくずっとあなたの泡風呂にいる

ゆ きをまる

@yrtiktnsrakunt

@beaute_1202 さたを る

松 @you1475963 ゆうり

@kareta_id 桝 枯井 戸

秋の手紙

きっと夢「遊びに来て下さい」なんて崩れた氷河を含めば甘い

果て、である永久凍土を踏みしめて不意に故郷の友を気にする

君がいる北斗七星見つめおり駱駝任せのよく揺れる空

白みゆく北極星にライオンもゾウもわたしも朝焼けを待つ

梅おかか昆布めんたい分け合って仲良くなるね朝を結ぼう

チョコレートスキンの子らと手を繋ぎ雨宿りする菩提樹香る

繋ぐ手の寄せ返す皺の波際に思い出が降るマンマと歩けば

またね、ってマングローブの根を撫でたいつかわたしも母になるから

「ちいさい秋みつけた」を歌うのがすき「真っ赤だな」を歌うのがすき

秋のうた手帖にいっぱい持ってるの違う紅葉の木のしただけど

年齢も生まれた場所も違うのにひとしく秋に染められていく

オレンジの星が香ってゆっくりと海側の秋もめぐり始める

金木犀の星を散らばる公園でこんぺいとうを齧る夕暮れ

頭から靴の先まで泥だらけ秋を探した冒険の旅

どんぐりは見つかったかな、胡桃かな? 真っ赤な秋は宝探しだ

ひもといた思い出たちが色づいて秋の手紙は歌うのがすき

優木ごまヲ

@yukigomao



カタクリ

@XMpX7rhxaXG3ivs

泉 由 良

×

@nano1257

COLORS



四季を巡って

この森に火を放とうか曼珠沙華かたちあるもの滅びるならば

心中をしない代わりに檬果をねぶりあいましょ代わる代わるに

(想うとは忘れないこと)つややかな双子の黄身に箸突き立てる

くり抜いた君の両眼にエメラルドはめて嫉妬の怪物とする

デザートを笑顔で断る友と居てマリッジブルーは遠いあこがれ

分け合えるものが欲しいと言う君へ「ボーイフレンド・デニムは嫌い」

誰と比べれば比べなければ「しあわせ」と言い切れるかな 桔梗を手折る

空なんて見上げなくてもつながったところから立つ虹の七色

やわらかなあなたはいつも一等星 シフトも進路も同じでいたい 初夏香る 緑道抜けて踊る靴 行き着く先は本の住む場所

星降る夜仰ぐ三日月虫の声 小説のような帰路背が二つ

火曜日は貴方と詠み合う秋の歌 古典は満点恋は何点?

満天の星もいつしか雪となり一人仰ぐ夜踏み出せぬまま

霜焼けの右手は君も吾も忘れ鉛筆の煤に染まるばかり

キャンパスに咲いた笑顔と梅の花 青空駆ける君のもとへと

「ハイ」と彼はにかめばもう言の葉は見守るだけのサクラサク国

村 田 @yuui_m03 侑 衣

あさき ま ほ

ろ

@mahoro_sy

@yuritanyogini

芍 薬 @Inuinire

井

笑って生きよう

また会いにくる

笑って生きようブタゴリラって呼ばれても笑って生きてる5年生がいる

触れた手がもう友だちに戻れずに止まったままの回転木馬

友だちの先に見えてる逃げ水を追えず涙で若葉を洗う

2回目のブレーキランプの点滅で電球が切れちゃった吉田美和

霊長類最強女子の吉田さん世界2位の強さで泣いてる

画面越し若葉にそっと触れてみるもしも会えたら何て言おうか

美輪明宏新車のナンバープレートは 4-10 ヨイトマケかな

楽譜には君の休符が残されておそらく僕はまた間違えた

何事もなかったように目の前のきみが抱えるリストの楽譜

amazon さん在庫があるなら才能を4時 - 16時の便で。Prime 会員です。

群馬とかの倉庫にワンチャン残ってそう小林幸子の紅白の衣装

息継ぎが長かっただけモチーフは装いを変えまた会いにくる

ヒーローと思えぬ配色仮面ライダーアマゾン必殺技大切断

どこまでも続く数字と思ってた。大切断。でも笑って生きよう

鳴り響くチェロの音色ははぐらかす声に似ていた もう待てないよ 消えてゆく背中最終楽章に長くて甘い繰り言が鳴る

雄矢

@yuyaokamoto1984 本

@garigarironge スズサク

@zarameyukitanka 粗 目雪

りこ

@b7282e_akaneiro

姉妹の会話 (とある日曜日編)

でかい

おやすみを言ったあとのが楽しいね ぽつりぽつりとふるえる空気

ガタゴトと揺れる車内で横並び宇宙経由で伝える「ねむい」

晴れた空、

目にもくれずに走ろうよ 10時発には乗れますように

「ゆく先は調べちゃうからついて来て☆」(お姉ちゃん風が少し寒い)

はんぶんこのパスタとふたつのケーキ ねえ、そっちもひとくち頂戴

まゆちゃんが注目してた書店にて あれ?わたしのが買っちゃってるよ…

夜ごはんまで一休みしよカーテンで夕焼けフーインするから

あしたから朝6時起き始まるね 早く寝なくちゃ!一首めへ戻る

飽きるまで口に詰め込む後悔を見越していても後悔をする

走りだすたび踏み込んでしまうからどろどろって即時な快感だ

水際の似合えば青も サーファーを数えていればヨットも含む

水・油・張り詰めている日常がどうにもならないから買った絵

グラビアの表紙に思い出せそうな、あれは油絵だっただろうか

ドロップスひとつぶひとつぶどこにでも行けるわたしの愛しいとかげ

理性みたいな撫で方をしてこの部屋でもっともでかい人間だった

デスポーン/リスポーンって繰り返すじゃあ俺も蜥蜴になろうかな

屋 万由子 吹屋三佐

子

@misako_tky

吹

I

藤 吹

@miohuz 冨 瑞 歩

51





発行:2020.11.02 短歌:ご寄稿くださった皆さま タイトル原案:嶋田さくうこ 企画・編集・制作:千原こはぎ